

平成 30 年度 保険診療委員会活動報告

委員長：今泉益栄 副委員長：田内久道

委員：小川千登世、小川 淳、加藤剛二、伊勢一哉、中山秀樹、後藤裕明

(1) 診療保険関連事項

1. 免疫遺伝子再構成を利用した定量 PCR 法による微小残存腫瘍検査 (PCR-MRD)

(1) 2019 年度 PCR-MRD 検査施設の学会認定と保険検査として運用開始

衛生検査所

- ・株式会社ビー・エム・エル BML 総合研究所
- ・エスアールエル遺伝子・染色体解析センター

保険医療機関

- ・独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
- ・愛知医科大学病院

2. 2020 年度診療保険改訂に向けた内保連要望 (学会の共同提案、○担当学会)

- (1) FDG-PET 検査の DPC 包括範囲からの除外 (○当学会、日本核医学学会)
- (2) 遺伝学的検査拡大 (難病等) (○日本人類遺伝学会、内保連小児関連学会)
- (3) 特定薬剤治療管理料対象薬としてブスルファン注射薬の追加 (○日本造血細胞移植学会、当学会)
- (4) 遺伝性腫瘍の遺伝学的検査 (○日本人類遺伝学会、内保連小児関連学会)

(2) 「医療上必要性が高い未承認薬・適応外薬検討会議」への要望

1. テモゾロミドの再発又は難治性のユーイング肉腫への適応拡大：JCCG 参加施設への実態調査を踏まえて公知申請し、2019 年 2 月適応拡大が承認。
2. 小児造血細胞移植患者における静注用ブスルファンの 1 日 1 回法：JCCG 施設二次調査の使用実態 (6 施設 35 例) を解析し、公知申請の準備。
3. 再発・難治性急性骨髄性白血病に対する FLAG 療法の使用実態調査：本学会の調査研究として JCCG 施設に協力を求め、公知申請に向け実態調査を実施。
4. 神経芽腫に対するイソトレチノイン (isotretinoin, 13-cis-retinoic acid)：初回申請は要望区分の違いで公知申請の対象外と判定されたため、改めて「未承認薬速実用化スキーム対象品目」として再申請。

(3) その他

1. 小児医薬品の実用化に資するレギュラトリーサイエンス研究 (日本小児科学会) へ参加

以上